

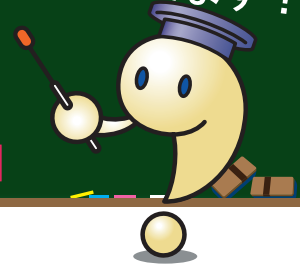
～2021年5月号特集～

「第26回知的財産権誌上研究発表会」

論文大募集！

予告締切：1月29日、原稿締切：2月12日

応募お待ちしております！



応募資格	知的財産の実務、研究に携わっている方 (日本弁理士会会員に限りません。学生の方も大歓迎！) (論文は未発表のものに限ります。)
テーマ	知的財産関連事件の判例研究、分析または評釈

第26回知的財産権誌上研究発表会も昨年に引き続き、**誌上討論会**として企画いたします。応募論文に対しては読者からの**公開質問**を受け付け、2021年9月号の本誌にて質問・回答を掲載致します。投稿論文においては、論文本文に加えて、**討論対象となることを希望する論点を1～3点程付記してください。**

**今回は、知的財産関連事件の判例研究、分析または評釈をメインテーマとして、論文を広く募集します。**例えば、前審（特許庁審決、地裁判決等）と終審（知財高裁または最高裁判決）とで判断が逆転した事件に関する論考や、損害賠償請求認容額についての分析、裁判において「勝てる」または「負けてしまう」特許明細書とはどのようなものか、現在の知的財産司法についての疑問や批判的見解、提案、役に立った経験談、等々が考えられます。が、必ずしも前記の例示に拘泥する必要はございません。知的財産関連事件に属する様々なテーマについて、読者と一緒に議論を深めたい観点を含む原稿の応募をお待ち申し上げております。

字数	14,000字まで厳守（引用部分、図表を含む）電子ファイルにて入稿
応募予告	2021年1月29日（金）まで (予告は任意ですが、応募者多数の場合、応募予告者を優先します) 下記論文提出先まで、以下の情報をお知らせください。 ①論文の題名（仮題で可） ②発表者の氏名・住所・職業・資格・勤務先・連絡先（TEL/E-mail）
原稿締切	2021年2月12日（金）
論文提出先	日本弁理士会 広報室「パテント」担当 TEL:(03)3519-2361 E-mail:patent-bosyuu@jpaa.or.jp
選考方法	広報センター会誌編集部にて審査します。 審査の結果、不掲載とさせていただくこともございます。

たくさんのご応募、お待ちしております！

日本弁理士会広報センター  
(パテント編集責任者)  
副センター長 橋本 清  
中村 恵子  
会誌編集部長 加藤 佳史